

謹啓 時下益々ご清祥の御事とお慶び申し上げます。

さて先日、神社にとりまして最も重要である「尊厳」「ご神威」を保つべく、当社ご神域の建造物・樹木・防犯設備などの整備・維持の爲のご奉賛をお願い致しましたところ、世情厳しき中にも関わらず、奉賛金をご寄進下さり、心より感謝申し上げます。

お陰様を持ちまして、本年のご神域の整備・維持の爲の予算を確保させて頂く事が出来ました。

来年以降も引き続き、神社の「尊厳」「ご神威」を保つべく、ご神域の整備・維持に努めてまいる所存でございまして、今後ともご奉賛の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

本来でございましたら、直接拝眉の上ご挨拶申し上げるべきところ、略儀乍ら書面をもちまして、心より御礼申し上げます。

謹白

令和七年六月吉日

車折神社宮司 高田能史

ご奉賛各位